



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社 森組

上場取引所 東

コード番号 1853 URL <https://www.morigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長

(氏名) 市川 秀一

TEL 06-6201-5898

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	17,854	23.6	357	71.7	327	73.2	204	75.2
2022年3月期第3四半期	23,365	15.8	1,265	28.9	1,222	26.5	823	27.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	6.24	
2022年3月期第3四半期	25.16	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	20,869	13,761	65.9	420.19
2022年3月期	25,413	13,966	55.0	426.47

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 13,761百万円 2022年3月期 13,966百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				14.00	14.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,900	23.7	770	59.5	740	60.1	500	60.2	15.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2023年2月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	32,800,000 株	2022年3月期	32,800,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	50,302 株	2022年3月期	50,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	32,749,698 株	2022年3月期3Q	32,749,698 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報) .....	6
(収益認識関係) .....	7
3. 補足情報 .....	8
四半期受注の概況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が依然として高水準で推移しましたが、感染者数の全数把握の簡略化が開始されたことや、感染症法上の分類見直しに向けた議論が本格化されるなどウィズコロナへと移行しつつあり、社会経済活動に回復の兆しが見られました。

一方で、長期化するウクライナ情勢に端を発した資源価格の高騰、日米金融政策の相違等を背景とする急速な円安の進行など、今後の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共建設投資は底堅く推移しているものの、慢性的な建設技術労働者不足に伴う労務費の高騰や資材価格の高止まりに加え、受注競争の激化など経営環境はより厳しさを増しております。

このような状況の下、当第3四半期累計期間における経営成績は、工事受注高は10,947百万円（前年同四半期比11.5%増）となり、売上高17,854百万円（前年同四半期比23.6%減）、営業利益357百万円（前年同四半期比71.7%減）、経常利益327百万円（前年同四半期比73.2%減）、四半期純利益204百万円（前年同四半期比75.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (建設事業)

建設事業におきましては、受注高10,947百万円（前年同四半期比11.5%増）、売上高17,392百万円（前年同四半期比24.0%減）、セグメント利益1,119百万円（前年同四半期比40.3%減）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高22百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益7百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

#### (碎石事業)

碎石事業におきましては、売上高438百万円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント損失3百万円（前年同四半期はセグメント損失4百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比4,544百万円減少の20,869百万円となりました。この主な要因は、現金預金3,036百万円及び受取手形・完成工事未収入金等1,897百万円の減少等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比4,338百万円減少の7,108百万円となりました。この主な要因は、支払手形・工事未払金等1,170百万円及び電子記録債務1,373百万円の減少等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比205百万円減少の13,761百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益204百万円の計上による増加と、配当金の支払いによる458百万円の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は65.9%（前事業年度末は55.0%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績動向及び今後の見通しを勘案し、2022年5月12日に公表しました通期の業績予想を修正しております。詳しくは本日（2023年2月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大・収束の状況や時期など、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。当社の業績に影響を及ぼす事象等が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	9,183	6,146
受取手形・完成工事未収入金等	12,616	10,719
売掛金	204	185
未成工事支出金	4	3
棚卸不動産	0	0
商品及び製品	7	9
材料貯蔵品	55	56
その他	494	876
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	22,560	17,992
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,121	1,121
機械、運搬具及び工具器具備品	1,822	1,891
土地	862	862
リース資産	34	44
減価償却累計額	△2,179	△2,267
有形固定資産合計	1,660	1,652
無形固定資産		
	54	47
投資その他の資産		
投資有価証券	343	411
長期貸付金	10	7
前払年金費用	605	619
その他	183	142
貸倒引当金	△5	△3
投資その他の資産合計	1,136	1,177
固定資産合計	2,852	2,876
資産合計	25,413	20,869

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,680	4,509
電子記録債務	3,063	1,690
短期借入金	800	—
未払法人税等	311	7
未成工事受入金	962	233
完成工事補償引当金	27	23
工事損失引当金	5	42
賞与引当金	136	—
その他	332	387
流動負債合計	11,319	6,892
固定負債		
繰延税金負債	112	193
その他	15	22
固定負債合計	127	215
負債合計	11,446	7,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	202	202
利益剰余金	12,099	11,844
自己株式	△4	△4
株主資本合計	13,936	13,682
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30	78
評価・換算差額等合計	30	78
純資産合計	13,966	13,761
負債純資産合計	25,413	20,869

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	22,892	17,392
碎石事業売上高	448	438
不動産事業売上高	24	22
売上高合計	23,365	17,854
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	20,650	16,008
碎石事業売上原価	430	421
不動産事業売上原価	16	15
売上原価合計	21,097	16,445
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	2,242	1,384
碎石事業総利益	18	16
不動産事業総利益	8	7
売上総利益合計	2,268	1,408
販売費及び一般管理費	1,002	1,050
<b>営業利益</b>	1,265	357
<b>営業外収益</b>		
受取利息	0	0
受取配当金	6	7
保険配当金	5	5
受取事務手数料	3	3
固定資産売却益	1	4
還付加算金	0	0
雑収入	4	4
営業外収益合計	21	25
<b>営業外費用</b>		
支払利息	15	11
損害賠償金	—	31
訴訟和解金	44	7
雑支出	4	6
営業外費用合計	63	56
<b>経常利益</b>	1,222	327
税引前四半期純利益	1,222	327
法人税、住民税及び事業税	334	60
法人税等調整額	64	62
法人税等合計	398	122
<b>四半期純利益</b>	823	204

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響については、当社は現在、重要な繰延税金資産がなく、固定資産についても収益が想定を下回る場合でも当面は減損損失等が発生することは考えにくく、当事業年度においては限定的であると認識しております。また、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算出することは困難であります。当社では新型コロナウイルス感染症による影響は一定期間経過後に収束し、当事業年度の業績について受注や工事進捗等に一定程度の影響を受けるものの、重要な影響はないと仮定したうえで、これを基に見積りを行っております。

なお、当該会計上の見積りについての仮定につきましては、前事業年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
一時点で移転される財	247	—	448	695
一定の期間にわたり移転される財	22,645	—	—	22,645
顧客との契約から生じる収益	22,892	—	448	23,341
その他の収益	—	24	—	24
外部顧客への売上高	22,892	24	448	23,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	22,892	24	448	23,365
セグメント利益又は損失(△)	1,875	7	△4	1,878

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,878
全社費用(注)	△612
四半期損益計算書の営業利益	1,265

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり管理部門のPersonnel費や経費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位：百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	碎石事業	計
売上高				
一時点で移転される財	270	—	438	708
一定の期間にわたり移転される財	17,122	—	—	17,122
顧客との契約から生じる収益	17,392	—	438	17,831
その他の収益	—	22	—	22
外部顧客への売上高	17,392	22	438	17,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	17,392	22	438	17,854
セグメント利益又は損失（△）	1,119	7	△3	1,123

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,123
全社費用（注）	△765
四半期損益計算書の営業利益	357

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり管理部門の人件費や経費であります。

なお、当期より管理部門の強化を目的として人員増強したことから全社費用が増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

### 3. 補足情報

四半期受注の概況

(1) 受注実績

項目	受注高	
2023年3月期第3四半期累計期間	10,947百万円	11.5%
2022年3月期第3四半期累計期間	9,816百万円	△35.0%

(注) パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

項目			前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		比較増減	増減率
			金額	構成比	金額	構成比		
建	土木	官公庁	7,031	71.6%	5,675	51.8%	△1,356	△19.3%
		民間	364	3.7%	217	2.0%	△147	△40.5%
		計	7,396	75.3%	5,892	53.8%	△1,504	△20.3%
設	建築	官公庁	11	0.2%	400	3.7%	388	—
		民間	2,408	24.5%	4,654	42.5%	2,246	93.3%
		計	2,420	24.7%	5,055	46.2%	2,635	108.9%
業	計	官公庁	7,043	71.8%	6,075	55.5%	△967	△13.7%
		民間	2,773	28.2%	4,871	44.5%	2,098	75.7%
		計	9,816	100%	10,947	100%	1,130	11.5%

(2) 受注予想

項目	受注高	
2023年3月期 通期予想	27,500百万円	13.5%
2022年3月期 通期実績	24,225百万円	△8.0%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率